

聖書における「三、四代」の意味をわかりやすく解説

KANNO Kazuhiko / Gemini 3 Pro Deep Research 2026.2.01

はじめに：このテキストは何を言っているの？

申命記5章9～10節には、神様がこう言っています：

「わたしを憎む者には、父の罪を子に報いて三、四代に及ぼし、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、恵みを千代にまで施す」

一見すると「お父さんが悪いことをしたら、子どもや孫まで罰を受けるの？それって不公平じゃない？」と思いますよね。でも、聖書をよく読むと、もっと深い意味があるんです。

1. 当時の家族の形を知ろう

古代イスラエルの「大家族」

現代の日本では、お父さん・お母さん・子どもという「核家族」が一般的です。でも古代イスラエルでは、おじいちゃん・おばあちゃん・お父さん・お母さん・子ども・孫・ひ孫が一緒に暮らしていました。これを「父の家（ベート・アーブ）」と呼びます。

つまり「三、四代」とは、一つ屋根の下で暮らしている家族全員のことを指しているんです。

具体的なイメージ

家長（おじいちゃん）が偶像を拝む習慣を始めたとします。すると：

- 子どもたちはそれを見て「これが普通なんだ」と学ぶ
- 孫たちもそれを当たり前だと思って育つ

- ひ孫の代には、本当の神様のことを忘れてしまう

悪い習慣は家庭の中で「伝染」していく——これが「三、四代に報いる」の現実的な意味です。

2. 重要なヘブライ語の意味

「罪」（アウオン）

日本語で「罪」と訳されているヘブライ語「アウオン」は、単なる「悪いこと」ではありません。心の中の「歪み」や「ねじれ」を意味します。

これは一回の行動ではなく、考え方や価値観そのものが曲がっている状態です。だからこそ、親から子へと受け継がれやすいのです。

「報いる」（パーカド）

「報いる」と訳されている「パーカド」は、実は「訪問する」「点検する」という意味があります。

神様は「罰を与えてやる！」と怒っているのではなく、「この家庭はどうなっているかな？」と見に来るイメージです。そして、歪みが直っていなければ結果が出る、ということです。

3. 数字の「三、四」と「千」の対比

ここが一番大切なポイントです！

対象	世代数	意味
罪の影響	三、四代	限定的・一時的
恵みの影響	千代	ほぼ無限・永遠

これが示していること

神様の設計では：

- 裁きは最小限に抑えられている（三、四代で止まる）
- 恵みは最大限に広がる（千代=数えきれないほど続く）

つまり、「神様は怒りっぽい方」ではなく、「恵み深い方」だということを、この対比は教えています。

4. 「遺伝する病気」のたとえで考える

悪い習慣は「病気」のように広がる

家庭内で偶像崇拜（神様以外のものを第一にすること）が始まると：

1. 第一世代：お父さんが「お金が一番大事」と考え始める
2. 第二世代：子どもたちがそれを見て真似する
3. 第三世代：孫たちには、それが「当たり前」になる
4. 第四世代：ひ孫たちは、本当に大切なことを完全に忘れる

でも「治療」は可能！

ここが希望のポイントです。どの世代でも、神様に立ち返れば、この連鎖は断ち切れるのです。

三、四代というのは「絶対にこうなる運命」ではなく、「放っておくとこうなりますよ」という警告なんです。

5. 新約聖書との関係

イエス様の時代

イエス様は、当時のユダヤ人指導者たちに「この世代は、すべての預言者の血の責任を負う」と言いました（マタイ23章）。

これは何を意味しているかというと：

- 何世代にもわたって神様を拒否し続けた結果
- ついに「査察」の時が来た

- 紀元70年にエルサレムの神殿が破壊された

バプテスマ（洗礼）の意味

ペテロは「この曲がった世代から救われなさい」と人々に呼びかけました（使徒2章40節）。

バプテスマとは、古い家族の悪い連鎖から出て、キリストという新しい家長のもとに入ることを意味しています。

6. 現代の私たちへのメッセージ

悪い習慣は「止められる」

あなたの家庭に、何世代も続いている悪い習慣があるかもしれません：

- 怒りっぽい性格
- お金への執着
- 人を見下す態度

でも、あなたの代でそれを止めることができます。神様に助けを求めれば、新しいスタートが切れるのです。

良い影響は「千代」続く

逆に、あなたが今日行う良い選択は、子どもや孫、その先の世代にまで良い影響を与えます。一人の決断が、千代にわたる祝福の始まりになる——これが聖書の約束です。

まとめ

ポイント	内容
三、四代の意味	一緒に暮らす大家族の範囲（悪影響の限界）
千代の意味	神様の恵みは無限に広がる
神様の性格	裁きは限定的、恵みは圧倒的

聖書における「三、四代」の意味をわかりやすく解説

ポイント	内容
私たちへの希望	どの世代でも、悪い連鎖は断ち切れる

神様は「罰したい方」ではなく、「救いたい方」です。 三、四代という警告は、私たちが早く気づいて方向転換するための「愛のアラーム」なのです。